



関西青少年サナトリウム



ひろば

敷居の低い 癒しの場としての病院をめざして



医療法人 社団 東峰会
関西青少年サナトリウム
〒651-2403

神戸市西区岩岡町西脇 838 番地

TEL 078-967-1202 (代)

FAX 078-967-3626

HPアドレス <http://www.tohokai.jp/>

E-アドレス office@tohokai.jp

広報誌へのご意見・ご希望を上記
E-メール・FAX でお寄せ下さい。

地域連携室を開設しました

当院ではこのたびソーシャルワーカー室を改称して、「地域連携室」を開設いたしました。従来から力を入れておりましたケースワークや退院支援に加えて、地域の皆さまと当院をつなぐ地域精神科医療の窓口として、「受診・入院に関すること」も重点業務に位置づけました。地域の開業医の先生方や医療機関、行政・福祉サービス事業所からのご相談やご紹介はもちろんのこと、診察もしくは入院を希望される方やご家族からのご相談にも対応してスムーズなお受け入れを図ります。

受診・入院のご相談は、お気軽に地域連携室までご連絡ください。精神保健福祉士が病状や困りごと、これまでの経緯や生活状況についてお伺いしたうえで、医師、看護師との多職種チームで対応を検討して迅速にお返事します。

地域の医療機関、行政・福祉サービス事業所の皆様と連携を深め、地域精神科医療に貢献できるよう尽力してまいります。どうぞ変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(地域連携室 精神保健福祉士 橋本祐子)



○地域連携室では以下のようなご相談にソーシャルワーカーが対応します。

- ・受診相談
- ・入院相談
- ・転院相談

○開業医の先生方へ
従来どおり、直接初診担当の医師におつなぎすることもできます。

関西青少年サナトリウム 地域連携室

受付時間	月～金 8時50分～16時50分 土 8時50分～12時
お問合せ	TEL 078 (967) 1202 (代表) FAX 078 (967) 3861 (直通)

訪問看護ステーション クローバー本部事業所移転

精神科に特化した訪問看護ステーションとして開設後 15 年が経ち、このたび病院の敷地内から 9/1 に移転することとなりました。関係者皆さまのご尽力のおかげと感謝申し上げます。法人の使命でもある地域医療に貢献し、精神医療を改革するといった壮大な目標に向かって新たな一步を踏み出したと思っています。重症な方、長期入院されている方など地域ではとても生活するのが難しい方々が退院し、地域定着に取り組みはじめ、より個別的に丁寧な関わりが必要とされる方も多く、新たな支援が課題となっています。症状を持ちながら生活する葛藤や苦悩をご本人が自分の課題として捉え、回復し、再び人生を考えることができるように、これまでの私達の意識や支援のあり方自体も変化が求められています。また当院のみならず、他の病院に入院されておられる方の受け入れも積極的に行い、より多くの方が病院ではなく、社会の中で生活ができるようにスタッフ一同歩んでいきたいです。今後とも宜しくお願いいたします。



～理念～

人につながる、社会につなげる、自分の人生を紡ぐ「紡ぐ」とは糸にする、編む、結ぶのほかにも、「思い」「幸せ」「人生」「命」など貴重なもの、形の見えないものなどを「一つにつなげる」という意味でも使われます。



訪問看護ステーション クローバー
所長 吉井栄子

※写真撮影時のみマスクをはずしております。

2020 年度 新採用者研修



今年度は4月に研修を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ようやく8月5日午後より研修を行うことができました。

全部署から 24 名が参加しました。最初に福永看護部長をはじめ各師長より病棟機能の説明があり、続いて瀬川院長より

「敷居の低い癒しの場としての病院をめざして」という当院の理念や経済状況を踏まえ、精神医療

の今後の方向性などに

ついて話がありました。鬼頭副院長からは精神医療と治療について講義しました。精神科が初めての職員にも疾患別の観察、対応のポイントがわかりやすかったという声が上がっていました。

今後も一部変更がありますが感染ガイドラインを基に様々な研修を進めていきたいと思います。 (教育担当：道脇唯公美)



急性期治療病棟スタート



令和2年9月1日から西1階病棟は、北1階病棟の精神科救急病棟に続き、急性期治療病棟としての運用がスタートしています。

西1階病棟は52床で、保護室が2室、個室が4室、特に観察が必要な状態の患者さん2人が使えるナースステーションに隣接した部屋が1室、4床の部屋が11室あります。

専任の精神保健福祉士、担当の作業療法士、薬剤師を配置し、医師も3名が担当

します。急性に不調となった患者さんの3か月以内の早期退院を目指して、それらの多職種でカンファレンスを行いながら、退院後の生活を見据えて、患者さんのご家族や地域の支援者、公的な機関とも連携を取ってゆきます。

精神疾患の症状は、おかれている環境やその患者さんの状況などにも左右されます。

この病棟に入院した、その後の生活もよりよくなることを手伝いたいと思っています。

位置づけとしては、救急病棟ほど非自発的な医療が必要ではなく、自ら入院の必要性を理解している新規入院

(3か月以内に精神科に入院していない)の患者さんに対して、精鋭のスタッフが精神的な専門性の高いサービスを提供する病棟ということになると思います。(医師：鬼頭あつ志)



デイケア通信 Reくらす

“リラックス”ではなく“Reくらす”
「え？Reくらすって何？」

日中に通う場がなかった方や入院しておられる方の社会参加の第一歩としてデイケアの利用を検討される事が多いです。「無理せず自分のペースでリラックスして過ごす場であってほしい」と、デイケアを勧めるスタッフやご家族など周囲の人は期待をするかもしれません。

一方、参加する方の側から見ると、久しぶりに人のたくさん居る場所で過ごすことや、初めてのプログラムを受けること、他人からの予想外の言葉や態度への対応など、様々な出来事との遭遇は「リラックスどころではない」のだと思います。

しんどい事ではありますが、そういった出来事との遭遇はリハビリテーションとしてとても良い実地練習の場になります。例えば、病棟は段差がなく楽に移動が出来ていたのに、デイケアに来ると、何か用事をしようとするたびに階段だらけで疲れてしまう…でも、それがとても良い運動になって、気が付くと体力が戻っているというような事。

私たちは、楽になるためのデイケアではなく、自分らしい暮らしを見つけるためのデイケアでありたいと思っています。

今後このコーナーではデイケアの、Reくらす情報を毎月お届けしていきます。

(デイケア：馬場麻里子)



外来再診 担当医のご案内（10月）

診察時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 9:15 ~12:00	狩場	鬼頭	内藤	瀬川	佐伯	当番医
午後 13:00 ~16:50	朴 内藤 ※児童・思春期外来	西村	岡本	瀬川 中井	頼 藤堂	/

☆金曜日の午後は2診制になります。

☆初診の方は原則としてその日の初診担当 Dr が診療にあたります。（曜日により常勤医をふりわけています）

☆月曜日午後の診察（朴医師）、水曜日午後の診察（岡本医師）、木曜日午後の診察（中井医師）は予約制です。

☆木曜日午後瀬川医師の診察は予約制（14：00～15：00）となります。※予約票が必要です。

☆※児童・思春期外来は毎週月曜日午後です。（担当：内藤医師、※完全予約制）

編集後記：今年の夏は例年にも増して暑さが厳しく感じましたが、朝晩は涼しくなり過ごしやすくなりました。秋になるとそろそろ夏の疲れが出てくる頃なので、体調管理に十分気をつけたいと思います。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋など色んな秋の楽しみ方があります。みなさんも自分の秋を見つけてみてはいかがでしょうか？（広報委員：I）